

指導員に必要な共通要素の研修

【専門分野で基礎となる共通要素の研修(DX関連技術を含む)】

カテゴリー	研修受講の目的		
	1. 知識・マインド	2. 活用	3. 開発・構築
DX 関連技術 ・ 業務改革	<p>1808 クラウドコンピューティング基礎</p> <p>1807 クラウドコンピューティングの理解</p> <p>1814 データ分析プロジェクトの進め方</p> <p>1816 業務効率化に向けたIT技術(初級編)</p> <p>1817 業務効率化に向けたIT技術とセキュリティの考え方</p> <p>1824 顧客ニーズに柔軟に応えるものづくりマネジメント</p>	<p>1809 クラウドコンピューティング利用技術</p> <p>1813 ディープラーニングの基礎とその活用</p> <p>【セット推奨】 1801・1802 ドローン操作・安全(基礎編)</p> <p>【セット推奨】 1803・1804 ドローン操作・安全(応用編)</p> <p>1818 業務効率化に向けたクラウド技術 【POWER PLATFORM】</p> <p>1823 表計算ソフトによる統計解析実習</p>	<p>1810 スマートホームの最新動向と実際 —IoT評価ハウス実習—</p> <p>1811 スマートホームの最新動向と実際 —IoT評価ハウス実習—</p> <p>1812 スマートホームの最新動向と実際 —IoT評価ハウス実習—</p> <p>1819 業務連携の可視化と DXにつながる仕組みの構築</p>
知的財産権	<p>1821 特許とAI・IoT技術</p>	<p>1822 特許作成の実践技術入門</p>	
計算科学	<p>1815 技術基礎の数学教育</p> <p>1805 Pythonによる科学技術計算入門</p>	<p>1820 物理実験を通じた分析、検証及び 報告書作成スキルの向上</p>	
UI・UX	<p>1806 「ものづくり」や「技能DX」に必要な人間中心の考え方</p>		

※「カテゴリー」とは、基盤整備センター令和4年度の成果物「DX導入ガイドブック」等のキーワードを参考にしている。

※ 色表示の研修コースは、DX対応コースを示している。